

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2000356529 A**

(43) Date of publication of application: **26.12.00**

(51) Int. Cl.

G01C 22/00
G06M 7/00

(21) Application number: **11202168**

(22) Date of filing: **11.06.99**

(71) Applicant: **NARUTOMI HANAKO**

(72) Inventor: **NARUTOMI HANAKO**
USUI HIROSHI

(54) MEANS FOR PHENOMENALLY EXPRESSING
DISTANCE

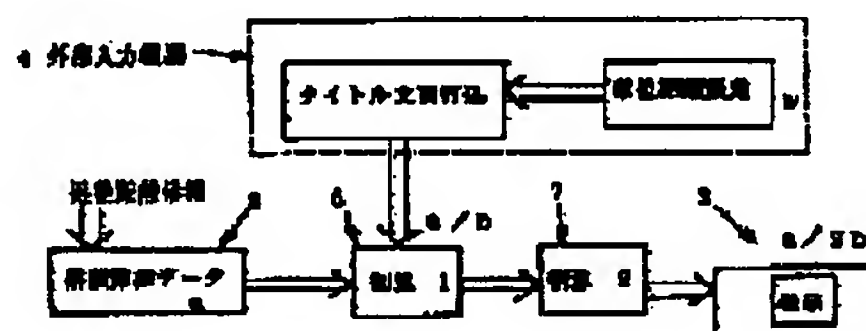
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a display of cumulative distance information which appeals to a human sensitivity by letting a user register an optional point or the like, and displaying, e.g. the number of reciprocations having a basic unit of a distance based on the registered point or the like.

SOLUTION: Expressing a concept of a distance phenomenally is carried out, e.g. with the use of a cumulative distance data (a) obtained by counting up the mileage of a bicycle or the like, an optional title saying such as 'between Tokyo and Osaka', 'reciprocated' or the like inputted from an external input device 4 such as a personal computer or the like to a title display panel or the like, and a unit distance information (b) corresponding to the saying. A division function part 6 carries out a division 1 of calculating the cumulative distance data (a)/unit distance information (b). The obtained value is further divided into half by a half division function part 7, whereby $a/2b$ which is the distance converted into a reciprocation amount is obtained. The converted value is displayed to a

predetermined display part. An arrangement using the converted value as a cumulative number of steps of a pedometer, the cumulative communication distance of a communication medium such as a telephone, as amateur radio or the like may be constituted.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-356529
(P2000-356529A)

(43) 公開日 平成12年12月26日 (2000. 12. 26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 1 C 22/00		G 0 1 C 22/00	W 2 F 0 2 4
G 0 6 M 7/00		G 0 6 M 7/00	J

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平11-202168

(22) 出願日 平成11年6月11日 (1999. 6. 11)

(71) 出願人 599079229

成富 はな子

大阪市住之江区御崎4丁目9番5-308

(72) 発明者 成富 はな子

大阪市住之江区御崎4丁目9番5-308

(72) 発明者 白井 宏

大阪市浪速区日本橋5丁目6番14号 日本
橋ビル3階 大阪電子クラブ

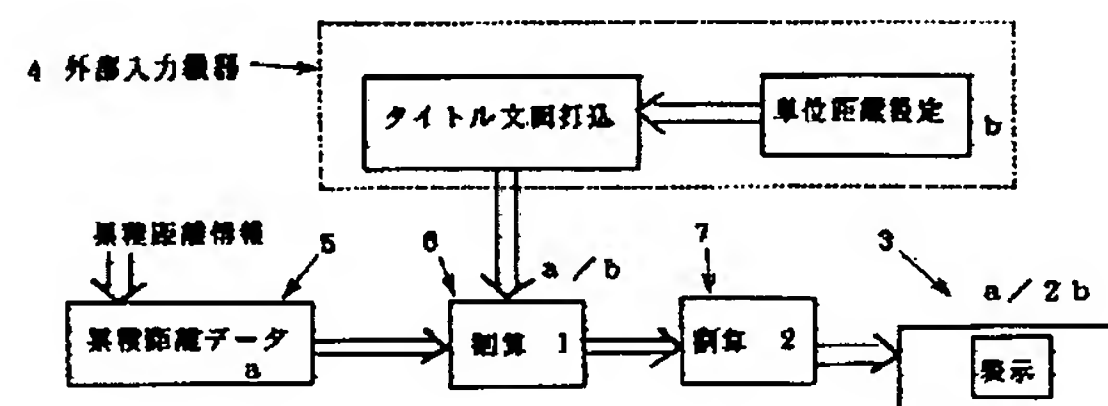
Fターム(参考) 2F024 BA10 BA13

(54) 【発明の名称】 距離の物象的表現手段

(57) 【要約】

【課題】感性に訴えかけて表現することにより、度合いをピンと感じさせること。

【解決方法】累積距離情報を設定距離単位で割り、その半分の値で何々まで何往復したと表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 歩数計に於いて、累積歩数を例えば東京大阪間を何往復したと、表現するように予め登録した電子メモリー又は記録札が表出するように構成したと。

【請求項2】 自動車、バイク、自転車等乗り物用に、累積走行距離を例えば東京からハワイまで何往復したと表現できるように予め登録した電子メモリー又は記録札が表出するように構成したと。

【請求項3】 電話（有線、携帯を問わず）、アマチュア無線等通信メディア用に、累積通信距離を例えば東京から火星まで何往復したと表現できるように予め登録した電子メモリー又は記録札が表出するように構成にしたと。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、距離の概念を物象的に表現する方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、距離の表現は数字と単位の組み合わせで全てを表現していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】通常使用される数字と単位の組み合わせによる表現方法は正確である反面、人の感性への訴えかけが無いためにいわゆる「ピンとこない」。そこで、精度を求めない場合の距離の表現に於いては比較物象を用意して、対比代替表現することを課題とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】乗物で自転車の場合、使用者が例えば東京か大阪を、あるいは使用者の住む町等を基点に有名もしくは馴染みの地点を登録しておく。その地点は社会的に有名である必要はなく、恋人の住む町でも使用者の出身地でも結構である。

【0005】登録はモバイル機器によるソフト的方法と、文字を刷り込んだ札によるハード的な方法が考えられるが、いずれにしても登録した2地点間の距離を基本単位として、自転車の累積走行距離を数字ではなく例えば「彼女の住む町まで何往復したことになる」と見る

のである。

【0006】実用する場合、ハード方式は融通が効かない上、製作も大変で非現実的であるから、ソフト方式について述べる。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図示例に基づいて説明する。

【0008】図4について自転車等外部機器からカウントアップした累積距離データ(a)を得て(5)、一方タイトル表示板(1)にはパソコンなど外部入力機器にて

【図1】～

【図3】のようなタイトル文面と単位距離情報(b)を打ち込んでおく。

【0009】割算機能部(6)で割算1即ち a/b を実施して、累積距離が設定値の何倍に相当するのかを見るのである。

【0010】2分割割算機能部(7)にて更に半分に割って、往復分に変換して $a/2b$ を得て表示するのである。

【0011】

【発明の効果】先に述べたように、せっかく得た累積距離情報を人の感性に訴えかけて、思考を経ない直接に感受できる効果に大なるものがある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 「彼女の住む町」を基点にした表示例

【図2】 「東京大阪間」を基点にした表示例

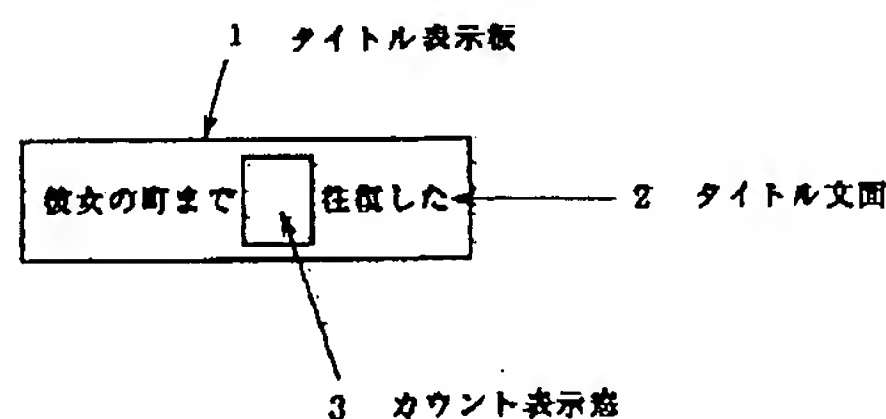
【図3】 「東京火星間」を基点にした通信距離表示例

【図4】 ソフト式の動作説明図

【符号の説明】

- 1 タイトル表示板
- 2 タイトル文面
- 3 カウント表示部
- 4 外部入力機器
- 5 累積距離データ
- 6 割算機能部
- 7 2分割割算機能部

【図1】



【図2】



【図3】

